



## 2018年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月2日

上場会社名 グリー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3632 URL <http://corp.gree.net/jp/ja/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員 (氏名) 秋山 仁 TEL 03-5770-9500  
 定時株主総会開催予定日 2018年9月26日 配当支払開始予定日 2018年9月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2018年9月27日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年6月期の連結業績（2017年7月1日～2018年6月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年6月期	77,925	19.2	9,421	17.8	10,317	2.8	4,708	△61.1
2017年6月期	65,369	△6.5	7,997	△43.8	10,035	△4.7	12,116	44.2

(注) 包括利益 2018年6月期 5,194百万円 (△41.0%) 2017年6月期 8,809百万円 (△10.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年6月期	20.01	19.95	4.2	8.3	12.1
2017年6月期	51.61	51.44	11.4	8.5	12.2

(参考) 持分法投資損益 2018年6月期 -百万円 2017年6月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年6月期	125,361	113,036	89.9	477.95
2017年6月期	122,954	109,883	89.2	466.41

(参考) 自己資本 2018年6月期 112,649百万円 2017年6月期 109,658百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年6月期	9,127	△1,856	△2,420	87,196
2017年6月期	11,652	△8,125	△1,837	82,382

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00	2,586	21.3	2.4
2018年6月期	—	0.00	—	14.00	14.00	3,299	70.0	2.9
2019年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 配当金総額には、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式への配当金(2017年6月期9百万円、2018年6月期26百万円)を含めておりません。

2. 2018年6月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2019年6月期の配当金につきましては、現在未定です。

### 3. 2019年6月期第1四半期(累計)の連結業績予想(2018年7月1日～2018年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期(累計)	18,500	△14.4	1,500	△44.3	1,500	△50.3	1,000	△47.5	4.25

(注) 2019年6月期の連結業績予想については、現時点で第2四半期(累計)及び通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第1四半期(累計)の業績予想のみを開示しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 ー社 除外 ー社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年6月期	242,190,900株	2017年6月期	241,889,800株
② 期末自己株式数	2018年6月期	6,499,974株	2017年6月期	6,776,857株
③ 期中平均株式数	2018年6月期	235,319,114株	2017年6月期	234,773,324株

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式（2018年6月期：1,860,696株、2017年6月期：850,679株）を含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2018年6月期の個別業績（2017年7月1日～2018年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年6月期	57,960	0.9	10,094	△38.5	10,362	34.5	3,830	△63.2
2017年6月期	57,415	7.7	16,414	△18.9	7,706	△50.0	10,414	△7.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2018年6月期	16.28	16.23
2017年6月期	44.36	44.22

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年6月期	123,003	114,190	92.5	482.85
2017年6月期	122,019	112,430	92.0	477.24

(参考) 自己資本 2018年6月期 113,802百万円 2017年6月期 112,205百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

我が国における個人のスマートフォン保有率は前年比4.1ポイント増の60.9%（出典：総務省「2017年通信利用動向調査の結果」）と伸びるとともに、2017年の国内ゲームアプリ市場規模も前年比9.2%増の1兆580億円（出典：株式会社Gzブレイン マーケティングセクション「ファミ通ゲーム白書 2018」）と成長しています。

このような環境のもと、当社グループは主力とするゲーム・エンタメ事業において、前連結会計年度にリリースした既存のスマートフォン向けゲームアプリ（以下、「モバイルゲーム」）の運営強化と海外展開による収益成長に取り組むと同時に、新規モバイルゲームの開発とリリースを進めてきました。

既存モバイルゲームにおける運営強化が奏功したこと、有力パートナーと連携し海外展開が実現したこと、加えて新規モバイルゲームを複数本リリースしたことにより、当連結会計年度では、前連結会計年度に比べてウェブゲームのコイン消費が減少したものの、モバイルゲームの増加が上回り、全体コイン消費が増加致しました。

以上の取組みの結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高77,925百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益9,421百万円（同17.8%増）、経常利益10,317百万円（同2.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4,708百万円（同61.1%減）となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益が前連結会計年度比で減少したのは、前連結会計年度において子会社売却等に伴う特別利益及び税効果の影響があったためであります。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は125,361百万円（前連結会計年度末比2,406百万円増）となりました。

流動資産は100,330百万円（前連結会計年度末比3,875百万円増）となりました。主な増加要因は、「現金及び預金」が4,814百万円増加したことによるものであります。

固定資産は25,030百万円（前連結会計年度末比1,468百万円減）となりました。主な減少要因は、「のれん」が3,591百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は12,324百万円（前連結会計年度末比746百万円減）となりました。

流動負債は11,603百万円（前連結会計年度末比891百万円減）となりました。主な減少要因は、「未払法人税等」及び「事業再編損失引当金」がそれぞれ1,145百万円、1,701百万円減少したことによるものであります。

固定負債は721百万円（前連結会計年度末比144百万円増）となりました。主な増加要因としては「その他」が144百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は113,036百万円（前連結会計年度末比3,153百万円増）となりました。主な増加要因は、「利益剰余金」が2,018百万円増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当連結会計年度末は89.9%であります。また、支払い能力を示す流動比率は当連結会計年度末は864.7%となっております。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ4,814百万円増加し、当連結会計年度末の残高は87,196百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、9,127百万円（前年同期比21.7%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益6,824百万円、減損損失3,150百万円、前受金の増加1,211百万円があった一方、事業再編損失引当金の減少1,706百万円があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1,856百万円（前年同期比77.2%減）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出2,655百万円、投資事業組合からの分配による収入1,095百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、2,420百万円(前年同期比31.7%増)となりました。これは主に配当金の支払額2,584百万円があったことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

当社グループは、引き続きモバイルを中心にインターネットを通じコンテンツやサービスの拡充を行うと共に国内外のユーザーの利用拡大、及び収益基盤の確立・強化に取り組んで参ります。

ゲーム・エンタメ事業では更に事業の拡大を果たすべく、既存モバイルゲームの継続的な強化を図りつつ、新規モバイルゲームのリリースに向け開発を進めて参ります。モバイルゲームの海外展開につきましては、日本国内で実績のあるタイトルを海外へ配信する取り組みを拡大して参ります。

ウェブゲームは、高い利益率を維持しながら継続的な利益創出ができるように取り組んで参ります。

また、ゲーム・エンタメ事業に続く第2の事業の柱として広告・メディアの事業規模の拡大に取り組んで参ります。

更に、新たな事業の柱としてバーチャルYouTuber関連に特化したライブエンターテインメント事業の立ち上げに努めて参ります。

なお、連結業績見通しにつきましては、インターネットを取り巻く環境の変化が激しく、当社グループの業績も短期的に大きく変動する可能性があること等から、信頼性の高い通期及び半期の業績予想数値を算出することが困難なため、第1四半期の業績見通しを公表させていただきます。

以上により、第1四半期は売上高18,500百万円、営業利益1,500百万円、経常利益1,500百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,000百万円を見込んでおります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識しており、事業の効率化及び拡大に必要な内部留保の充実を勘案しながら、その時々当社グループの経営成績及び財政状態並びにそれらの見通しに応じた適切な利益還元策を実施することを基本方針としております。

配当につきましては、業績連動型の配当を実施することを基本方針としており、毎期の業績等を勘案しながら、連結配当性向20%を目処に実施して参ります。

この方針のもと、当期につきましては、1株につき4円の普通配当の実施を予定しております。加えて株式上場10周年に伴う記念配当の実施を予定しております。この結果、当期の配当金は1株につき14円(普通配当4円、記念配当10円)となります。

来期以降につきましては、現時点では未定であります。基本方針に従いながら株主に対する適切な利益還元策を都度検討して参ります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、国際会計基準の適用について適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当連結会計年度 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	82,382	87,196
受取手形及び売掛金	7,071	7,148
繰延税金資産	3,163	1,920
未収入金	1,962	1,347
その他	1,907	2,722
貸倒引当金	△32	△5
流動資産合計	96,455	100,330
固定資産		
有形固定資産		
建物	876	1,209
工具、器具及び備品	253	347
有形固定資産合計	1,130	1,557
無形固定資産		
のれん	3,920	329
その他	576	282
無形固定資産合計	4,496	611
投資その他の資産		
投資有価証券	13,871	15,928
繰延税金資産	3,931	3,411
その他	3,293	3,743
貸倒引当金	△224	△221
投資その他の資産合計	20,872	22,862
固定資産合計	26,499	25,030
資産合計	122,954	125,361
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	1,442	296
賞与引当金	840	559
未払金	6,328	7,366
事業再編損失引当金	1,701	—
その他	2,181	3,380
流動負債合計	12,494	11,603
固定負債		
その他	576	721
固定負債合計	576	721
負債合計	13,071	12,324

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当連結会計年度 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,334	2,351
資本剰余金	2,332	2,348
利益剰余金	111,533	113,552
自己株式	△6,229	△5,776
株主資本合計	109,972	112,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	233
為替換算調整勘定	△576	△60
その他の包括利益累計額合計	△313	172
新株予約権	224	387
純資産合計	109,883	113,036
負債純資産合計	122,954	125,361



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年7月1日 至 2017年6月30日)	当連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)
売上高	65,369	77,925
売上原価	21,938	30,824
売上総利益	43,431	47,100
販売費及び一般管理費	35,433	37,679
営業利益	7,997	9,421
営業外収益		
受取利息	17	16
受取配当金	253	319
為替差益	1,135	—
投資事業組合運用益	58	715
貸倒引当金戻入額	300	—
その他	279	38
営業外収益合計	2,044	1,090
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	192
支払手数料	1	0
その他	4	0
営業外費用合計	7	194
経常利益	10,035	10,317
特別利益		
固定資産売却益	—	100
投資有価証券売却益	2,070	—
関係会社株式売却益	626	207
為替換算調整勘定取崩益	2,028	—
その他	203	—
特別利益合計	4,928	307
特別損失		
固定資産除却損	23	44
減損損失	4,107	3,150
投資有価証券評価損	196	93
事業再編損失引当金繰入額	1,688	—
その他	734	511
特別損失合計	6,750	3,799
税金等調整前当期純利益	8,213	6,824
法人税、住民税及び事業税	1,561	337
法人税等調整額	△5,464	1,779
法人税等合計	△3,902	2,116
当期純利益	12,116	4,708
親会社株主に帰属する当期純利益	12,116	4,708

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年7月1日 至 2017年6月30日)	当連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)
当期純利益	12,116	4,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△521	△29
為替換算調整勘定	△2,785	515
その他の包括利益合計	△3,307	486
包括利益	8,809	5,194
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,809	5,194

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2016年7月1日 至 2017年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,306	2,304	101,363	△6,535	99,438
当期変動額					
新株の発行	28	28			57
剰余金の配当			△1,875		△1,875
親会社株主に帰属する当期純利益			12,116		12,116
自己株式の処分		△66		306	240
自己株式処分差損の振替		66	△66		-
連結範囲の変動			△4		△4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	28	28	10,169	306	10,533
当期末残高	2,334	2,332	111,533	△6,229	109,972

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	784	2,209	2,993	172	102,604
当期変動額					
新株の発行					57
剰余金の配当					△1,875
親会社株主に帰属する当期純利益					12,116
自己株式の処分					240
自己株式処分差損の振替					-
連結範囲の変動					△4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△521	△2,785	△3,307	52	△3,254
当期変動額合計	△521	△2,785	△3,307	52	7,279
当期末残高	262	△576	△313	224	109,883

当連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,334	2,332	111,533	△6,229	109,972
当期変動額					
新株の発行	16	16			32
剰余金の配当			△2,586		△2,586
親会社株主に帰属する当期純利益			4,708		4,708
自己株式の処分		△103		453	350
自己株式処分差損の振替		103	△103		—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	16	16	2,018	453	2,504
当期末残高	2,351	2,348	113,552	△5,776	112,476

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	262	△576	△313	224	109,883
当期変動額					
新株の発行					32
剰余金の配当					△2,586
親会社株主に帰属する当期純利益					4,708
自己株式の処分					350
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△29	515	486	162	648
当期変動額合計	△29	515	486	162	3,153
当期末残高	233	△60	172	387	113,036

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年7月1日 至 2017年6月30日)	当連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	8,213	6,824
減価償却費	1,258	615
減損損失	4,107	3,150
のれん償却額	822	768
受取利息及び受取配当金	△271	△336
投資事業組合運用損益 (△は益)	△58	△715
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	△413	204
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,070	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△626	△207
投資有価証券評価損益 (△は益)	196	93
為替換算調整勘定取崩益	△2,028	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,437	△76
未収入金の増減額 (△は増加)	896	354
未払金の増減額 (△は減少)	△1,294	949
前受金の増減額 (△は減少)	905	1,211
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△508	△11
事業再編損失引当金の増減額 (△は減少)	1,688	△1,706
その他	△1,035	34
小計	8,345	11,154
利息及び配当金の受取額	262	336
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	3,045	△2,362
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,652	9,127
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△123	△441
無形固定資産の取得による支出	△397	△92
長期前払費用の取得による支出	△599	—
投資有価証券の取得による支出	△3,585	△2,655
投資有価証券の売却による収入	2,338	545
投資事業組合からの分配による収入	743	1,095
敷金の差入による支出	△223	△608
敷金の回収による収入	—	466
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,192	△217
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	583	—
その他	330	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,125	△1,856
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△25	—
自己株式の売却による収入	60	183
配当金の支払額	△1,874	△2,584
その他	2	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,837	△2,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	488	△36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,177	4,814
現金及び現金同等物の期首残高	80,190	82,382
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14	—
現金及び現金同等物の期末残高	82,382	87,196

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度より連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前連結会計年度(自 2016年7月1日 至 2017年6月30日)及び当連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

当社グループは、インターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2016年7月1日 至 2017年6月30日)		当連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	
1株当たり純資産額	466円41銭	1株当たり純資産額	477円95銭
1株当たり当期純利益金額	51円61銭	1株当たり当期純利益金額	20円01銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	51円44銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	19円95銭

1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2016年7月1日 至 2017年6月30日)	当連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	12,116	4,708
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	12,116	4,708
期中平均株式数(千株)	234,773	235,319
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	744	719
(うち新株予約権)	(744)	(719)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まれな かった潜在株式の概要	—	—

(注) 普通株式の期中平均株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式を控除し算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。